

## 対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 パンジ川河岸自然災害リスク低減計画 供与式報告

平成27年3月29日、「パンジ川河岸自然災害リスク低減計画」の計画完了を記念する供与式がシュグナン行政郡で開かれ、鎌田大使、シュグナン行政郡長、フォーカス・ヒューマニタリアン（FOCUS）代表並びに多数の地元住民や関係者が参席しました。

本計画では、パミール自治州シュグナン行政郡及び同ロシュトカラ行政郡の6村（合計人口約9千人）を対象に、同地域で広いネットワークを持つFOCUS（国際NGO）が計画実施団体となり、地元住民の協力のもと、自然災害（洪水）対策のための歩道橋建設や河岸補強工事が行われました。

対象となった村々は、険しい山岳地帯に位置しているため、山から流れる川が洪水を起こし、家屋や農地が度々洪水の被害を受けていました。また、計画実施前の歩道橋は、基礎が弱く、経年劣化のため安全に渡ることが出来ませんでした。

本支援を通じ、2村で歩道橋建設、3村で河岸補強工事、そして1村で用水路改修が行われ、計6村において住民の生活の安全を確保するためのインフラが整備されました。



本計画対象村の一つであるシュグナン行政郡シズド村にて、シュグナン行政郡長、フォーカス・ヒューマニタリアン代表及び大使によりテープカットが行われました。



供与式には大勢のシズド村住民や関係者が参席しました。



シュグナン行政郡シズド村に建設された歩道橋。



ロシュトカラ行政郡アンダルフ村に建設された歩道橋。